

環境学習講座

環境情報活動センターでは年間を通じて環境講座と夏休み・春休みに子ども環境講座を開催しています。広報しながわ、当センターホームページ(右下枠内)などのご案内しています。

幕末の御台場埋め立てと品川宿 (2月14日)
講師：品川歴史館学芸員 富川武史氏

幕末の御台場埋め立てを取り巻く品川宿の環境変化についての講義でした。御殿山などの土を海上に埋め立てることによる人工島砲台築造は品川宿に大きな被害をもたらしました。品川宿の家屋取り壊しがあり、当時品川沖で獲れたさまざまな魚が獲れなくなってしまいました。



乾いた大地のペンギン「マゼランペンギン」 (2月21日) 講師：ペンギン写真家 鎌倉文也氏



「ペンギン＝南極」というイメージが強いと思いますが、雪や氷のない場所にすむペンギンがたくさんいます。南米パタゴニア地方の乾いた大地に巣を作って子育てするマゼランペンギンや人々の暮らしがペンギンに与えている影響などについて、スクリーンに映し出される可愛いペンギンの写真を見ながらお話ししていただきました。

「次世代自動車」ってどんな車？ (2月28日)
講師：次世代自動車振興センター事務局 榎田剛司氏

次世代自動車、即ちEV・FCV・PHEVですが、主として電気自動車とハイブリッド自動車について、その歴史と現状、さらに今後の見通しについてお話しいただきました。(写真は郵便事業株式会社提供)

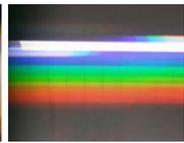


春の寄せ植え (3月5日)
講師：秋草会メンバー

鉢・草に個性が溢れて寄せ植えをしました。7～8月には開花予定の花で、夏に向けて観賞していただけます。またそれらの花などの魅力、特徴、育成方法を解説していただきました。



光の実験～白い光の正体を探ろう～ (3月7日)
講師：独立行政法人科学技術振興機構 理科大好きボランティア講師 久保利加子氏



白い光とはどんな光なのでしょう？分光シートを使って電球や蛍光灯の光を観察しながら、白い光がいろいろな色の光からできていることを学びました(左電球の光、右蛍光灯の光)。また光とLED(発光ダイオード)に対する関心を深め、環境にやさしい照明の利用を考えました。

聴診器を使って木々の鼓動を聴きました。水が流れるような音、ザーという音、ドクドクといった音も聞こえました。春になり虫が動きはじめました。前もって仕掛けを作っておき、土の中の虫を採取し観察しました。

生きものについてもっと知ろう (3月14日)
講師：日本環境協会子ども相談室相談員 環境カウンセラー 平沢信夫氏

聴診器を使って木々の鼓動を聴きました。水が流れるような音、ザーという音、ドクドクといった音も聞こえました。春になり虫が動きはじめました。前もって仕掛けを作っておき、土の中の虫を採取し観察しました。



エコサポーターを募集しています

環境学習講座では野外へ出かける講座や子どもを対象とした講座があり、そのお手伝いをしてくださる方を募集しています。詳細は品川区環境情報活動センターまで(TEL 5742-6533)

品川区環境情報活動センター 今後の環境学習講座予定

さき布から「ぞうり」を作ろう
(中学生以上)家庭にあるさき布を使って、お洒落な「ぞうり」を作ります。
日時/4月25日(日)、29日(祝)14時～16時30分(2日で完成します)
親子で楽しみながら学ぶエコゲーム
(小学生と保護者) すごろくやカードゲームで省エネを学びます。
日時/5月2日(日)14時～16時

極寒の地に生きるシロクマと温暖化
(一般) 地球温暖化でシロクマの生息がおびやかされています。
日時/5月23日(日)14時～16時

しながわ区民公園で自然とふれあおう
(小学生と保護者)
五感を使って自然を観察します。
日時/5月30日(日)14時～16時
場所/しながわ区民公園
エコツーリズム先進国、コスタリカの自然と野鳥を訪ねて(一般)
日時/6月12日(土)14時～16時

「場所」の記載のない講座は、すべて環境情報活動センターで開催予定。講座はいずれも予定、名称は仮称です。応募方法等については「広報しながわ」、品川区環境情報活動センターのホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2009年度Vol.4

発行：品川区都市環境事業部
編集：特定非営利活動法人 エコタウンしながわ
発行日：平成22年3月25日
住所：〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区環境情報活動センター内
TEL/FAX：03-5742-6533
E-mail：center@shinagawa-eco.jp
HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう



品川区環境情報活動センターだより

2009年度 Vol.4

しながわ環境大賞決定

平成22年2月13日(土)
きゅりあん小ホール



しながわ環境大賞の授賞式が、2月13日(土)きゅりあん小ホールで行われました。しながわ環境大賞は平成18年度に品川区によって創設され今回が4回目です。この賞は品川区内で優れた環境活動を行っている団体・個人を顕彰し、その内容をみなさんにご紹介することにより、環境活動を広げていくことを目的としています。

環境大賞の活動をご紹介します



花交差点の仲間たち

歩道の違法駐輪自転車問題をきっかけに品川区南大井二丁目のマンション6棟の人々が集まり、年2回の植栽のほか、大森海岸駅前からしながわ区民公園(水族館)入口までの歩道の清掃と花壇の整備など地域の環境整備活動を行っています。この活動のおかげで今では駐輪自転車を見ることがほとんどなくなりました。

布ぞうりサークル品川

使い古した布やひもなどを使って、環境にやさしい布ぞうり作りをしています。布ぞうり作りは不要になったものを有効利用できるほか、工夫しながら自分の作品を作ることにより毎日の生活にうるおいを与えてくれます。今後もより多くの人に布ぞうり作りの楽しさを伝えていきたいと思っています。

東京サラヤ株式会社

「生物多様性の保全活動」「環境教育の推進」を周辺地域とのコミュニケーションを考慮しながら取り組むという目標を掲げて活動を行っています。昨年環境改善に貢献しようと社屋の前に花壇を作り、昆虫の生息域を増やすことができました。地球環境問題を企業運営の重要なことと位置づけ、今後も挑戦して行きます。

環境賞

家庭倫理の会品川区「皆で汗して住みよい街創成」、小山二丁目東部町会「まちの美化・緑化活動」、ト音記号の会「地域の『子どもと大人』がともに環境教育を学ぼう」、八幡福寿会「みどり」と花のボランティア『八幡福寿会』、区立五反田保育園「エコレンジャーと一緒に地球を守り隊」、三澤誠之助(個人)「夜明の清掃屋さん」

五反田近くの公園でごみを拾い続けていたら最近ごみがなくなった。まわりをきれいにしておく捨てる人も少なくなると言う畔柳さん。

しながわ観光協会が観光ボランティアをしている勝山さんは、羽田空港が国際化されるので、大田区と一緒に地区紹介活動を進めている。

小野さんは花壇作りを通して花と昆虫の生育(成育)にかかわっており、今後はボランティアとして聖蹟公園での花壇作りに取り組む予定。

林試の森公園の近くに住んでいる村井さん。林試の森公園の四季を皆さんにお伝えしている。

平塚二丁目町会で活動している志賀さん。同町会が行っている「花いっぱい運動」は着実に広がっており、「屋上緑化」実験も順調に進んでいると言う。

布川さんは品川区地球温暖化対策地域推進計画の策定にメンバーとして参加した。計画は作るよりも実施することが大切と考えている。

寿松木さんはエコバッグに関心を持っている。あるスーパーがエコバッグを有料にしたら売り上げが落ちたため取りやめたと聞いた。袋を有料化するよりも袋代をキャッシュバックしたり、ポイント制にした方が良いと思っている。

体育指導委員でもある石毛さん。ウォーキングの途中で見える草花について紹介をして行きたいと言う。

白石さんは区のイベントに積極的に参加、協力している。最近子供たちはエコについてよくわかっていて、小学2年生くらいでも、しなければならぬことは生活の一部に入ってきている。この子供たちが大きくなったときにどんなに良い品川になるのだろうと楽しみにしている。



第11回 環境記者 情報交換会



勝島運河「花海道」で菜の花などを育てている真壁さん。運河では最近ボラが泳ぎ水鳥も来ているが、水がきれいになっているのですね。

マンションの管理人をしている青野さんはごみの分別に努めている。ごみは海の生物をおびやかす結果につながってしまうと言う。

門倉さんは林試の森公園で毎朝通路の掃除をしているが、一人ひとりの力が全体を変えて行くと思っている。最近公園もきれいになってきており、新しい方も加わり徐々にこの輪が広がっていくことを期待している。



インタメディア代表の佐山吉孝さんから「昔のおもかげを探してまち歩き/その三、田園都市構想のまち小山・旗の台を歩く」と題してお話を伺いました。歩いているとまちの成り立ちや地

域の歴史を知ることができます。この地域も坂が多く、小高い丘の上にある小山八幡神社境内からは東京タワーが、また江戸見坂からは新宿副都心が見られます。当時はこの場所から江戸のまちがよく眺められたのでしょう。

品川区と目黒区にまたがって林試の森公園がありますが、春は桜、秋には池に映る紅葉がとてもきれいで、いつ行っても本当に気持ちの良い公園です。ぜひ訪れてみてほしいと思います。

を環境記者として登録します。いただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。詳細は環境情報活動センターまで(TEL 5742-6533)

環境記者を募集しています

環境情報活動センターでは現在区民「環境記者」を募集しています。花の開花情報、地域の環境イベント情報、環境活動など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方

旧東海道を歩いてみませんか

品川橋を渡ると南品川に入ります。商店がたくさんあった北品川に比べると民家が多くなり、落ちついたまち並みです。



品川橋を渡ると「街道松の広場」があり、ここに浜松から贈られた立派な松があります。その先三島、袋井、大磯、保土ヶ谷などの宿場まちから寄贈された松が旧東海道沿いに続きます。これらの松は歩道に敷かれた石畳とともにまち歩きを楽しませてくれます。

京急鮫洲駅を過ぎて左に折れると勝島運河に出ます。雑草の生い茂った運河だった勝島運河は「しながわ花海道」()となって春には菜の花、秋にはコスモスが咲きます。

「しながわ花海道」は平成14年に「勝島運河の土手をお花畑にしよう」を合言葉に立会川商店街、鮫洲商店街が中心になって「しながわ花海道プロジェクト」を設立し、運河の土手にある1.5m四方の区画およそ1200区画に個人やグループ、学校、企業などが種をまき、花を咲かせて楽しんでいます。

京急立会川に向かって旧東海道に戻ると浜川橋(なみだ橋)があります。刑場に引かれる罪人と縁者が今生の別れを告げたこの橋の約700m先に八百屋お七が処刑されたことで知られた鈴ヶ森刑場跡があります。このあと旧東海道は第一京浜と合流し、川崎宿へと続きます。



北品川から鈴ヶ森刑場跡までは約3.5km。通してのんびり歩いて2時間くらいです。途中には京急の北品川、新馬場、青物横丁、鮫洲、立会川の各駅があるので、疲れても気軽に歩けると思えます。

しながわ区民公園へ行ってみませんか

しながわ区民公園は区立公園としては最大規模の総合公園として昭和62年4月に全面オープンしました。

同公園は「花とひろばと水の緑の公園」をテーマとして、大規模なレクリエーションの場の確保、緑化を進め自然を回復する、防災機能の強化の三つを柱として整備されています。

ここでは「緑と自然」についてご紹介いたします。

公園の北口を入るとすぐに「桜の広場」があり、3月末から4月にかけて約400本の白と淡いピンクの桜(ソメイヨシノ)が私たちを迎えてくれます。

紅葉の時期にはモミジやカエデの紅色とイチョウの黄色が私たちの目を引きつけます。

寒い冬には梅やツバキ、



上と左の写真は環境記者の内田雅弘さんからお送りいただいた写真です。(上)「子供たちはお花見というより遊びが一番です」(左)「紅葉やツツバキが残るせせらぎは海水で、勝島の海に流れ込んでいます」とご紹介いただきました。



サザンカが咲き、年間を通してきれいな花々を楽しむことができます。

園内には下の写真のような小路があり、夏場には一時的清涼感を味わうことができます。この小路には剪定枝から作られたチップ材が敷き詰められ、歩きやすい路作りがされています。



また倒れかかった樹木廃材からベンチや木柵作り、剪定枝や落葉から堆肥・腐葉土を作っており、リサイクル資源を公園内で利用することにより、循環型リサイクルが進められています。

緑と自然にふれあえる公園ですが、ほかにもスポーツ広場、噴水広場、子供の遊び場など、家族で楽しめる施設が整ったしながわ区民公園を訪れてみてはいかがでしょうか。

